

我孫子市鳥の博物館調査研究報告第4巻：55-60（1995）

手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅶ —水面（1994）—

平岡考¹，大山紀子²，斉藤安行²，百瀬邦和¹，鶴見みや古¹

キーワード：鳥相、センサス、手賀沼、千葉県、水面、水鳥

はじめに

手賀沼は千葉県北部に位置する湖沼で、古くから水禽類の渡来地として知られている（黒田 1985）。山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館では、手賀沼とその周辺の鳥類の生息状況を把握する目的で共同で鳥類調査を実施してきた。調査では、手賀沼周辺の環境を①ヨシ原、②水田・畑地、③斜面林、④水面の4つに区分し、各環境区分ごとにセンサスをおこなっている（斉藤ほか 1992 a, b, 斉藤・大山 1993, 1994, 平岡ほか 1994）。

本報文では、水面の鳥類センサスについて、前報（平岡ほか 1994）にひきつづき、1994年1月から12月までの結果を報告する。

調査地と方法

手賀沼は北部と南部の二つの沼からなり、それぞれ本手賀沼、南部手賀沼と呼ばれているが、調査は本手賀沼の開放水面を対象におこなった。本手賀沼（以下「手賀沼」と呼ぶ）は、開放水面の面積が約360haの東西に細長い水域である（図1）。

センサスにあたり重複カウントを防ぐため、対岸の観察地点を直線で結んで手賀沼の水面をA1～A6とB1～B5の11区画に分けた（図1）。3または4班に分かれた4～5

表1 調査日時と天候

年月日	天候	調査時間
1994年1月19日	快晴	8:47-10:40
2月16日	曇のち晴	8:42-10:30
3月16日	快晴	8:24-10:03
4月20日	晴のち曇、風強し	8:34-9:55
5月17日	曇	8:35-10:40
6月16日	曇のち晴	8:35-9:45
7月14日	曇	8:34-10:15
8月11日	晴	8:40-10:12
9月13日	曇	8:35-10:20
10月18日	晴	8:41-10:10
11月15日	快晴	8:33-10:20
12月14日	快晴	8:42-10:34

1. (財)山階鳥類研究所：〒270-11 千葉県我孫子市高野山115

2. 我孫子市鳥の博物館：〒270-11 千葉県我孫子市高野山234-3

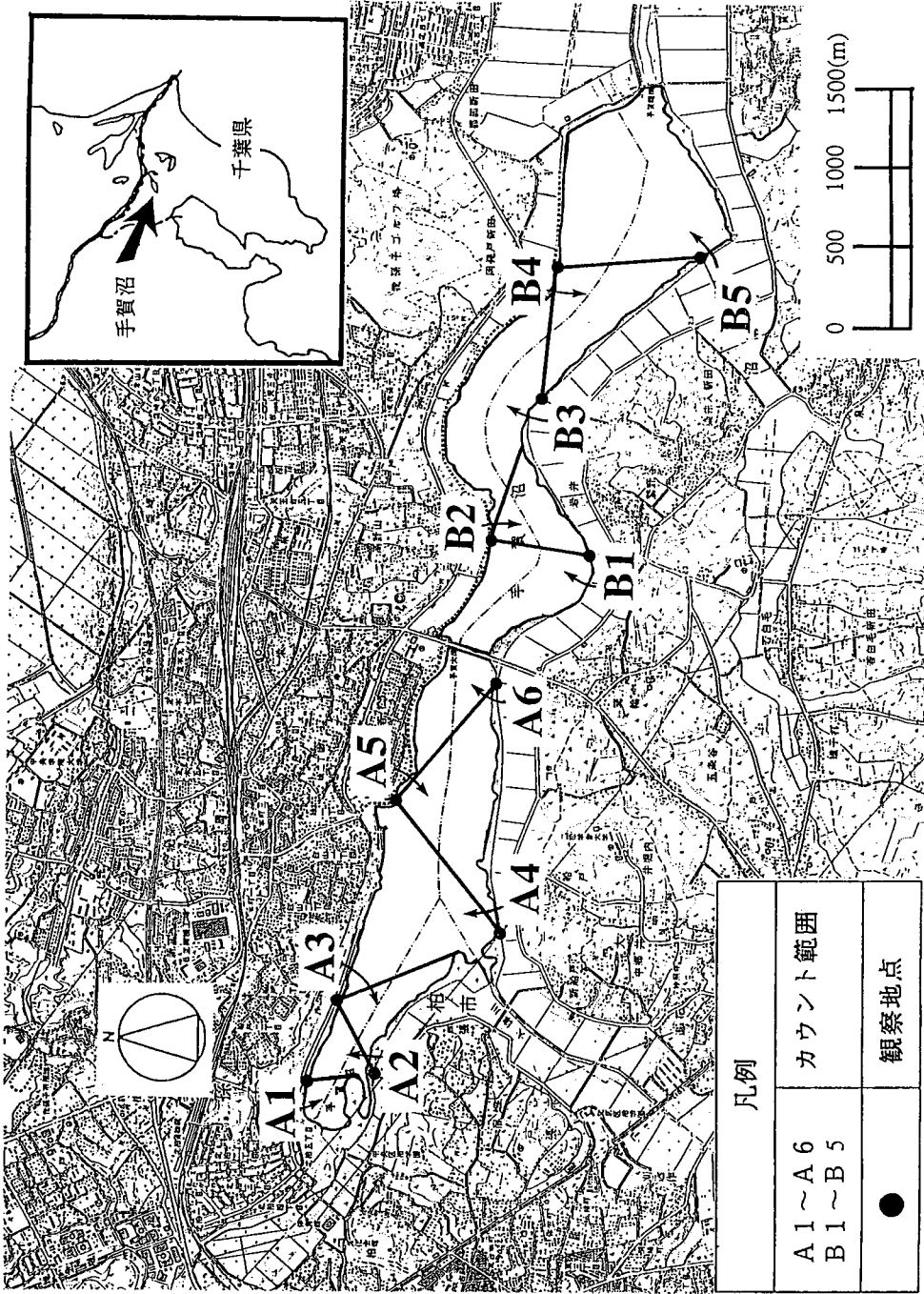


図1 調査地位図

注：この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図（取手、流山）を使用したものである。

名の調査者が沼兩岸の観察地点を移動しながら、それぞれ受け持ちの区画で、定点から出現した鳥類と個体数をカウントし記録した。カウントにあたっては、可能な限り、対岸の調査班と時間を合わせ、また事後の調整によって境界線付近の鳥の移動によるカウント誤差を少なくするように努めたが、飛行あるいは小群の遊泳等による移動は無視した。

カウントの対象としたのは開放水面に出現した個体のみであり、抽水植物群落に出現したものと上空を通過しただけの個体は含めなかった。ただし、水面上を飛んでいる鳥で水面を利用していると考えられるもの（カモメ科など）と開放水面中に設置された漁網や杭の上の個体は含めた。また水位変動により冠水する抽水植物群落の縁の砂地や中州上の個体も含めた。各区画の記録をすべて合計し、手賀沼の水面における各月の生息個体数とした。調査は毎月1回行い、おおむね午前8時30分から始め午後12時までで終了した。表1に調査日時と天候を示す。観察にあたり、双眼鏡（7～10倍）と地上望遠鏡（20～60倍）を用いた。

なお、観察ポイントA6の背後に、水田をつぶしてヘドロ沈殿用の池が造成された。10～12月にはこの池にカモが少数入ったが、集計には含めなかった。

結 果

表2にセンサスの結果を示す。1年間に8目14科43種の鳥類を確認した。種の確認ができなかったものがカモ亜科（カモ類）にあった。

確認種数と総個体数の月変化をそれぞれ図2と図3に示した。種数は、最小10種（4月、6月）から最大27種（12月）までの間で変化した。総個体数は、最小110羽（6月）から最大3257羽（1月）まで大きな変化が見られた。

種ごとの各月の個体数を1年間累計したものを表3に示す。もっとも多かったのはカルガモの4214羽で、つづいてオナガガモ（2010羽）、オオバン（1128羽）、マガモ（1089羽）、コガモ（979羽）、ユリカモメ（840羽）と続く。

夏期（6月、7月、8月）および冬期（1月、2月、12月）の累積総個体数にしめる各種の優占割合を求め、図4に示した。冬期の上位5種はカルガモ、オナガガモ、マガモ、コガモ、オオバンだった。また、夏期の上位5種はカルガモ、カワウ、オオバン、カイツブリ、コサギだった。カルガモとオオバンは夏期、冬期を通じて優占していた。

引用文献

- 黒田長久. 1985. 水鳥の里, 手賀沼; 我孫子移転にあたって. 山階鳥類研究所研究報告 17:3-8.
- 斉藤安行・百瀬邦和・平岡考・鶴見みや古・大山紀子. 1992 a. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅰーヨソ原、水田・畑地、斜面林（1988-1991）ー. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告1:43-59.
- 斉藤安行・平岡考・百瀬邦和・鶴見みや古・大山紀子. 1992 b. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅱー水面（1988-1990）ー. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告1:61-73.
- 斉藤安行・大山紀子. 1993. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅲーヨソ原、水田・畑地、斜面林（1992）ー. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告2:25-34.
- 斉藤安行・大山紀子. 1994. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅳーヨソ原、水田・畑地、斜面林（1993）ー. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告3:71-79.

表2 手賀沼鳥類センサス結果—水面— (1994年)

種名	月/日											
	1/19	2/16	3/16	4/20	5/17	6/16	7/14	8/11	9/13	10/18	11/15	12/14
カイツブリ	54	46	23	6	13	22	28	22	24	35	31	39
ハジロカイツブリ	19										7	28
カンムリカイツブリ	1										2	1
カリウ	15	48	23	33	30	24	44	16	14	33	58	63
ヨシゴイ							1	1				
ゴイサギ	4	37			1	1	4				1	8
ダイサギ	3	1	1			1	10	7	27	38	18	8
チュウサギ								2	2	7		
コサギ	9	4	7	2		1	13	17	25	24	14	8
アマサギ								4	30			21
アオサギ	20	18	16		2	1	6	15	33		42	
コブハクチョウ	2	3	3	4	3		7	7	7	7	7	3
マガモ	271	543	75		2						134	64
カルガモ	959	800	388	57	39	22	102	97	457	215	406	672
コガモ	200	273	157	32	2				5	123	72	115
トモエガモ		2										
ヨシガモ		4										
オカヨシガモ	39	37	24								66	83
ヒドリガモ		4	2							105	25	
オナガガモ	1050	589	86	1						10	121	153
ハシビロガモ	84	114	57		1					14	92	159
ホシハジロ	20	38	29							2	37	12
キンクロハジロ	6	3	1							4	30	4
スズガモ										12		
ホオジロガモ												1
ミコアイサ	35	24	4								12	75
カモ科sp.	6		3								6	
バン	6	5	5		1	1	1		4	3	8	4
オオバン	209	224	197	31	22	35	30	15	66	53	138	108
コチドリ									5			
シロチドリ											1	
ユリカモメ	232	61	25	27					6	159	148	182
セグロカモメ	9	4	2								4	4
クロハラアジサシ							2					
コアジサシ				5	11	2	18	1	1			
カリセミ	1	1			2		4					
ツバメ							5					
ハクセキレイ	1						1			3		
セグロセキレイ										2		
モズ												1
ツグミ		1										
スズメ					1			4				2
ハシボソガラス	2	2	3				17	6	1	1	13	14
ハシブトガラス							2			5	5	3
個体数合計	3257	2886	1131	198	130	110	295	210	681	886	1497	1835
種数	25	26	21	10	14	10	18	13	16	23	25	27

表3 種別年間累積個体数

順位	種名	累積個体数	順位	種名	累積個体数	順位	種名	累積個体数
1	カルガモ	4214	16	ダイサギ	114	31	スズメ	7
2	オナガガモ	2010	17	ハシボソガラス	59	32	コチドリ	5
3	オオバン	1128	18	ゴイサギ	56	33	ツバメ	5
4	マガモ	1089	19	アマサギ	55	34	ハクセキレイ	5
5	コガモ	979	20	ハジロカイツブリ	54	35	カンムリカイツブリ	4
6	ユリカモメ	840	21	コブハクチョウ	53	36	ヨシガモ	4
7	ハシビロガモ	521	22	キンクロハジロ	48	37	ヨシゴイ	2
8	カワウ	401	23	バン	38	38	トモエガモ	2
9	カイツブリ	343	24	コアジサシ	38	39	クロハラアジサシ	2
10	オカヨシガモ	249	25	セグロカモメ	23	40	セグロセキレイ	2
11	アオサギ	153	26	カモ科sp.	15	41	ホオジロガモ	1
12	ミコアイサ	150	27	ハシブトガラス	15	42	シロチドリ	1
13	ホシハジロ	138	28	スズガモ	12	43	モズ	1
14	ヒドリガモ	136	29	チュウサギ	11	44	ツグミ	1
15	コサギ	124	30	カワセミ	8		合計	13116

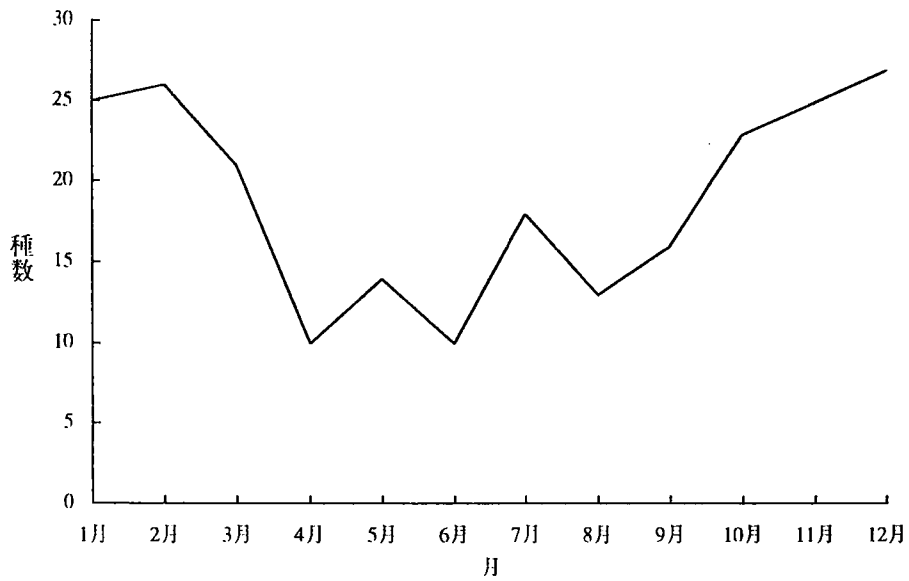


図2 種数の月変化

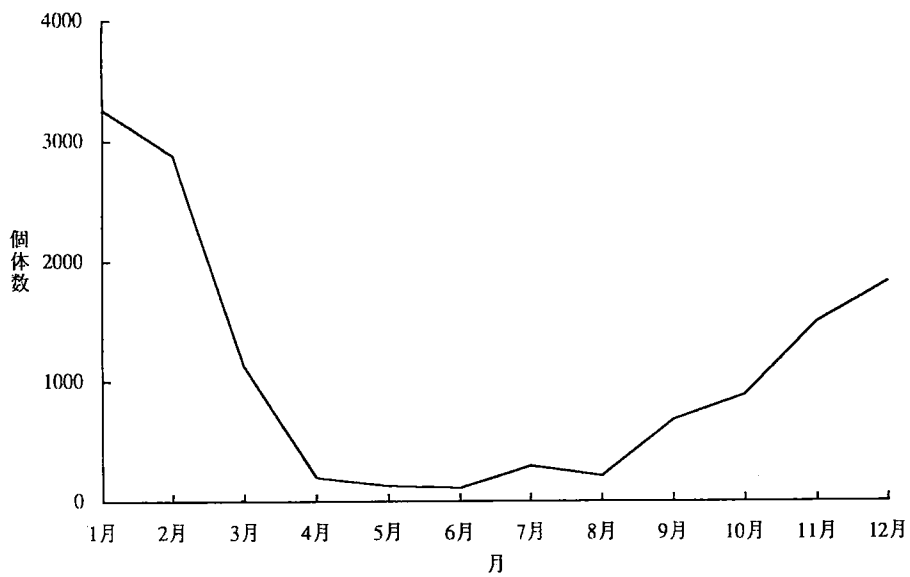


図3 個体数の月変化

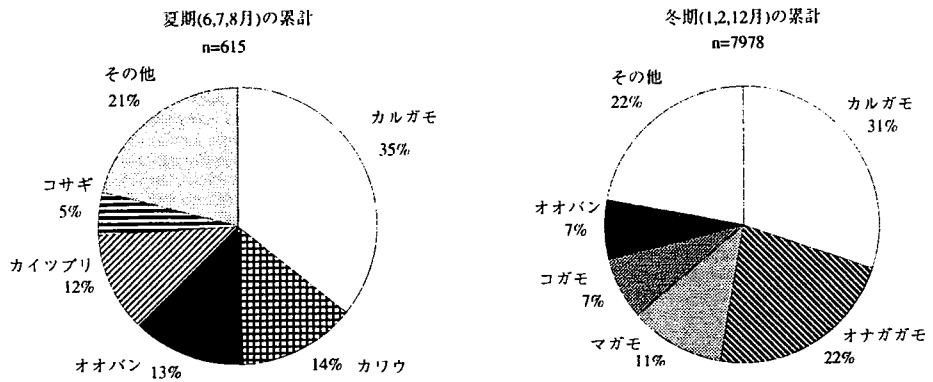


図4 夏季と冬期の優占種

平岡考・斉藤安行・百瀬邦和・鶴見みや古・大山紀子. 1994. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅴ－水面(1991-93)－. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告3:81-89.

Bird census report at the Lake Teganuma and the periferal area. VII.

—Water surface (1994)—

Takashi Hiraoka¹, Noriko Ohyama², Yasuyuki Saito²,
Kunikazu Momose¹, and Miyako Tsurumi¹

1. Yamashina Institute for Ornithology, Kohnoyama 115, Abiko, Chiba Pref., 270-11 Japan.
2. Abiko City Museum of Birds, Kohnoyama 234-3, Abiko, Chiba, Pref., 270-11, Japan

Bull. Abiko Mus. Birds Vol. 4 : 55-60 (1995)